

コミュニケーション能力を育むことを目指した体験的な学習の系統性

総合的な学習の時間 単元「研修旅行の事後学習」

【西城紫水高等学校第2学年】

時期	学校行事	教科	総合的な学習の時間	特別活動 (学校行事を除く)
10月		教科「情報」 科目「情報A」 単元「情報の収集・発信と情報機器の活用」 ※ねらい：必要とする情報を効率的に検索・収集する方法を習得する。【イ】	単元「研修旅行自主研修事前検討会」 ※ねらい：グループ毎の課題を明らかにし、ねらいに沿った研修を計画する。 【ア】：リーダー・フォロアーシップを発揮して、相手の能力を引き出し、チームワークを高める。 単元「グループ別自主研修」 ※ねらい：グループ内で課題を設定して、調査・研究を行う。 【ア】：自己の職業的な能力・適性を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする。進路や職業・産業の動向について、多面的・多角的に情報を集め検討する。	ホームルーム活動 単元「研修旅行 ホテル職員による講話」 ※ねらい：宿泊ホテルの方からの講話を通して、働くことの意義について学ぶ。【ア、イ】
		教科「公民」 科目「政治・経済」 単元「現代の経済」 ※ねらい：経済生活の変化、現代経済の機能について理解する。 【イ】		
	球技大会	教科「保健体育」 科目「体育」 単元「球技」		
	ピアノコンサート	教科「芸術」 科目「音楽」 単元「鑑賞」		
11月		教科「国語」 科目「国語表現」 単元「表現の実践2」	単元「研修旅行の事後学習」 ※ねらい：研修旅行の研修を通して地域の課題と将来の勤労について考える。 【ア】：自己の思いや意見を適切に伝え、他者の意見を的確に理解し、社会で必要とされる知識と能力を身に付けるための方策を検討する。	ホームルーム活動 単元「選択科目について」 ※ねらい：自分の進路選択にあわせた科目選択ができる。 【エ】
		教科「家庭」 科目「家庭福祉基礎」 単元「地域の福祉の現状と課題」		
	「高齢者大学交流会」 ※ねらい：地元の高齢者との交流を図る。 【ア】：多様な他者と場に応じた適切なコミュニケーションを図る。	教科「情報」 科目「情報A」 単元「情報の統合的な処理」		
		教科「保健体育」 科目「体育」 単元「ダンス」		

図中の単元をつなぐ太い直線は、本単元で身に付けさせたいコミュニケーション能力の系統性を示しています。

※図中の【ア、イ、ウ、エ】はそれぞれ【ア】人間関係形成能力、【イ】情報活用能力、【ウ】将来設計能力、【エ】意思決定能力を示しています。

事前・事後の指導における系統性をもった教科学習の授業実践例(高等学校)

コミュニケーション能力育成の視点を取り入れた授業

総合的な学習の時間 単元「修学旅行の事後学習」

【西城紫水高等学校第2学年】

キャリア教育の視点に立った指導の工夫

- この学習は、インターンシップや修学旅行において、「働くこと」をキーワードに企画を立てた体験的な学習を通して、望ましい勤労観・職業観を育てることをねらいとしている。本時のグループは修学旅行で共に研修の企画を立てたグループであり、そのグループで討議を行うことで、学習の効果を高めている。
- 本時で意見交換するグループは、修学旅行では同じ体験をしており、経験の中から得られたことに共通点があり、さらにコミュニケーション能力を育成を目指す指導を工夫をしている。

1 学年 第2学年

2 科目名・単元名 総合的な学習の時間 単元「修学旅行の事後学習」

3 単元(題材)の目標

- 大都市と地方の違いや課題について考え、グループ内で議論することができる。
- 将来、自分自身が働くことを想定し、今やらなければならないことを考えることができる。
- 自分の考えを分かりやすく他者に伝え、他者からの考えを聞いて理解する。【コミュニケーション能力】

ゴシック体の部分は、キャリア教育の視点を示しています。

4 指導と評価の計画(全4時間)

次	学習内容(時数)	評価				評価方法	
		関	考	表	知		
					【キャリア教育の視点】 評価規準 ・ グループ内で積極的に活動している。 ・ 話し合いの中ではたくことへの意識を高めている。 ・ 収集した情報を分かりやすくまとめている。 ・ グループ内で出された課題について理解し、解決策を考えている。	観察法(発言)	
1	報告会に向けて(3)				○		
2	報告会(1)	○		○		・ 分かりやすく説明している。 ・ いろいろな考えを吸収しようとして聞いている。	観察法(発言) 作品法(ワークシート) 観察法(行動)
3	社会に必要な知識や能力を知ろう(1)本時			○		・ 社会に必要な知識や能力について知る。 ・ インターンシップや修学旅行での研修等を振り返りながら、今必要とされる力を身に付けることが必要であることを理解する。 ○ 自己の職業的な能力・適性を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする。 【コミュニケーション能力】	観察法(発言) 作品法(ワークシート) 観察法(発言)

5 本時の目標

- 社会で必要な知識や能力について知る。
- インターンシップや修学旅行での研修等を振り返りながら、今必要とされる力を身に付けることが必要であることを理解する。
- 自己の職業的な能力・適性を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする。

【コミュニケーション能力】

6 本時の指導過程（2時間連続による指導過程の授業である。）

過程	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法） 【キャリア教育の視点】
導入	○ 本時の目標及び学習内容、学習方法を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の目標について板書する。 ・ 前時に行ったグループ分けを確認させる。 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ インターンシップや修学旅行を振り返り、働く人たちが身に付けていた知識や能力を思い起こす。 ○ グループ討議で出てきた知識や能力の中で、自分が社会に出るまでに身に付けておくべき知識や能力について考える。 ○ 社会で求められる知識や能力を示して、これら「社会人基礎力」がもたれている理由は何かを考える。 ○ 「付箋紙の秘密」を聞いて、失敗することの必要性をグループで考えてワークシートにまとめてグループごとに発表する。 ○ 社会人基礎力を身に付けるために、今やらないといけないことを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な事例を挙げて、働く人たちには自分たちには身に付いていない知識や能力があることに気付かせる。 ・ 自分の考えをワークシートに記入し、グループで意見交換をする。 ・ 多くの意見を引き出す。 ・ 在学中に身に付けなければならない知識や能力があることに気づかせる。 ・ グループで意見交換をした後、発表させる。 ・ グループで出した意見を板書し、それらをグループ化して社会人基礎力につなげて生徒に示す。 ・ 「付箋紙の秘密」を作成していたことを話題として、失敗を恐れずに粘り強く取り組むことが大切であることに気付かせる。 ・ 考えたことをワークシートにまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会で必要な知識や能力について知る。 ○ 修学旅行の研修等を振り返りながら、今必要とされる力を身に付けることが必要であることを理解する。 ○ 語意を文脈に即して類推することで、語の意味や用法についての理解を深めることができる。 (観察法, 作品法) ○ 自己の職業的な能力・適性を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする。【コミュニケーション能力】 (観察法, 作品法)
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時のまとめを行う。 ○ 次時の学習を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時では、社会人教育力について考えたこと、身に付けるためにはどうしたらよいかをグループで意見交換したことを説明する。 	